

審査の結果の要旨

氏名 彭立沛

観光の発展や文化的景観、参加についての議論は一般に、場所の個性についての研究の差し迫った必要性に行き着く。現在台湾では観光が活況であるにも係らず、地方のコミュニティはその文化的景観を失いつつあり、コミュニティの参加が欠如している。とくに、台湾の状況に基づけば、次の3つの現象が文化的景観と観光の発展に影響を与えている。1) 観光の発展はコミュニティの収入を補うための必須の手段である。2) 文化的景観は失われやすく、急速な観光の発展によって、危機的状況に直面している。3) 民主的意識が国家の独自性の問題を掲げ、意思決定過程における政治的な独自性と実践を反映している。これら3つの現象が切迫した危機となり、コミュニティ観光の発展過程に着目した場所の個性に関する研究の必要性を生じている。

本論文は、上記のような背景の下で、コミュニティ観光の発展過程の要因を明らかにし、場所の個性の強化との関係について検証することを目的としているが、具体的には次の3つの研究設問に答えようとするものである。1) 場所の個性を強化することは台湾において重要となってきたのか？2) もしそうであれば、どのような政策なのか？政府の支援や観光資源がコミュニティ観光の発展にどのように作用しているのか？3) コミュニティ観光を発展させるプロセスは何か？場所の個性を強める方法は何か？

これら3つの研究設問に基づき、本研究は次の3点について検討した。1) 台湾における場所の個性を強化することの課題や傾向を明らかにする。2.1) 規制を含む制度、そのステークホルダーや国家レベルでの補助金政策を明らかにする。2.2) コミュニティ観光発展のための地域レベルでの政府支援や観光資源について分析する。3.1) コミュニティ観光の発展過程を再概念化する。3.2) 場所の個性の強化の評価、仕組み、分析枠組みを確立する。3.3) 場所の個性を強化する仕組みを検証する。そのために、1) 国家レベルでは、規制を含む制度、そのステークホルダーや補助金政策について検討し、2) 地方レベルでは、全ての地方自治体を対象にした定量的なアンケート調査を行い、政府支援と観光資源がコミュニティ観光の発展にどう作用するかについての理解すると同時に、3) コミュニティレベルでは、抽出したエリアの4つのシナリオにおいて分析をおこなった。

本論文において得られた主要な知見と結論は以下の通りである。1) 場所の個性の明確化：本研究は、場所の個性という曖昧な概念を定義付ける全体的な視点を提供する。典型的なエリア間の比較により、コミュニティ観光の過程における制度的な厚みが、より強い場所の個性につながる傾向があることが明らかとなる。2) 研究の中心：「文化的景観の活用」がコミュニティ観光の発展に必要不可欠である。「共同所有の促進」がコミュニティ観光の発展の重要な要素である。3) 国家レベルでは、場所の個性を強化することは台湾において重要

になりつつある。土地利用計画や観光開発への転用は規制が依然として厳しく、複雑で、コミュニティの参加が少ない。中央政府からの介入はプロジェクトへの補助金にのみ焦点が当てられている。コミュニティは場所の個性を強化するために適切な補助金を得ることができるが、中央集権化された観光庁はコミュニティ観光を長期にわたって妨げている。

4) 地方レベルでは、政府支援はコミュニティ観光の発展のための観光資源に向けられる傾向がある。地方政府の支援がここ 10 年間のコミュニティ観光の発展を支えている。地方政府は地方の共通資源をコミュニティ観光の発展に利用することを支援している。地方政府の支援は場所の個性の感覚を増大させる。連続した古い文化的景観のようなより長い観光資源は、場所の個性の強さとは関係が無い。

5) コミュニティレベルでは、本研究は「文化的景観の活用」と「共同所有の促進」がコミュニティ観光の発展の重要要素であり、場所の個性を強化する基盤となるものであることを実証した。

とりわけ、場所の個性の強化に成功している事例では、内部の繋がりは厚くなる変更点であり、外部の繋がりは政府機関、プロジェクトや他のスポンサーと強く結びついていることが明らかとなった。

以上のおり、本研究は、とくに、台湾を対象として、場所の個性化とコミュニティ観光の発展プロセスならびに景観保全の正の循環プロセスに関する実証的研究を行い、優れた学術的価値を有している。さらに、その分析を通じて今後の改善のための有益な提言を行っている。

よって本論文は博士（工学）の学位請求論文として合格と認められる。